

平成22年度地域公共交通活性化研修班別討議内容

E 班

班別討議において出された意見等
<p>(苦勞・課題)</p> <ul style="list-style-type: none">・バスを使ってもらえない。 小さいときから教育(環境等)することで、改善が図られないか。・住民に現状を知ってもらうことが重要。・アンケート結果に騙された。(「乗る」と答えたが、実際には乗っていない人が多数)・地域差があり、画一的な交通手段ではダメ。 地域ニーズの調査が必要。・持続可能な交通にすること(身の丈にあった)。・ボランティアを活用できないか。 行政の支援が必要だろう。・財政的な問題がある。
各班における討議結果
<p>《住民の足の確保のために》</p> <ul style="list-style-type: none">・現状を住民に説明 地域ニーズ調査 地域毎に合った交通手段 (バス、乗合タクシー、NPO 有償運送 など) <p>《行政として》</p> <ul style="list-style-type: none">・共同、連携の橋渡しの役割が重要